



# MUシリーズ 工場用システム保管庫

取扱説明書

®

棚1段当りの耐荷重は、均等で70kgです。

※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

## 安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



### 警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- 耐荷重以上の荷物を収納しない  
製品本体の転倒、引出しの落下、棚板の変形などにより、けがをするおそれがあります。取扱説明書の表記に従ってください。
- 足をかけたりよじのぼったりしない  
転倒したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。
- 不安定な場所や傾斜地に設置しない  
ケース本体が倒れたり、引出しが落下して、けがをするおそれがあります。



### 注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 扉の開閉、引出しの出し入れは、ゆっくり静かに行う  
指などはさんだり、引出しが破損して、けがをするおそれがあります。
- 製品の異常を発見したまま使用しない  
本体がこわれて、けがをするおそれがあります。
- 手前側にかたよった収納はしない  
バランスを失って、ケースが転倒するおそれがあります。
- 棚および引出し最上段から収納しない  
バランスを失ってケースが転倒するおそれがあります。
- 火気の近くに置かない  
やけど、火災、変形、変色の原因になります。
- 移動時は、ケースが傾かないよう、ゆっくり運ぶ。またケース内に物を入れたまま移動しない  
引出しが飛び出したり、収納物が落ちたりして、けがをするおそれがあります。
- 子供の手の触れる場所に設置しない。また、子供を近づけない  
ケースに触れて倒れたりして、けがをするおそれがあります。また、連結部・内部の切断面および収納物によってけがをするおそれもあります。扉の中に閉じ込められるおそれがあります。
- 改造や無理な修理分解はしない  
取付けミスなどで製品が破損したりけがの原因になります。
- 壊れやすい物、危険物、薬品等は収納しない  
破損してけがをしたり、健康を害するおそれがあります。
- 屋外や水のかかる場所に設置しない。また、ぬれたものを収納しない  
ケースが腐食し、転倒するおそれがあります。
- ケース内に貴重品などを収納しない  
こじあけなどにより、盗難にあうおそれがあります。

● 本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。  
※この取扱説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。



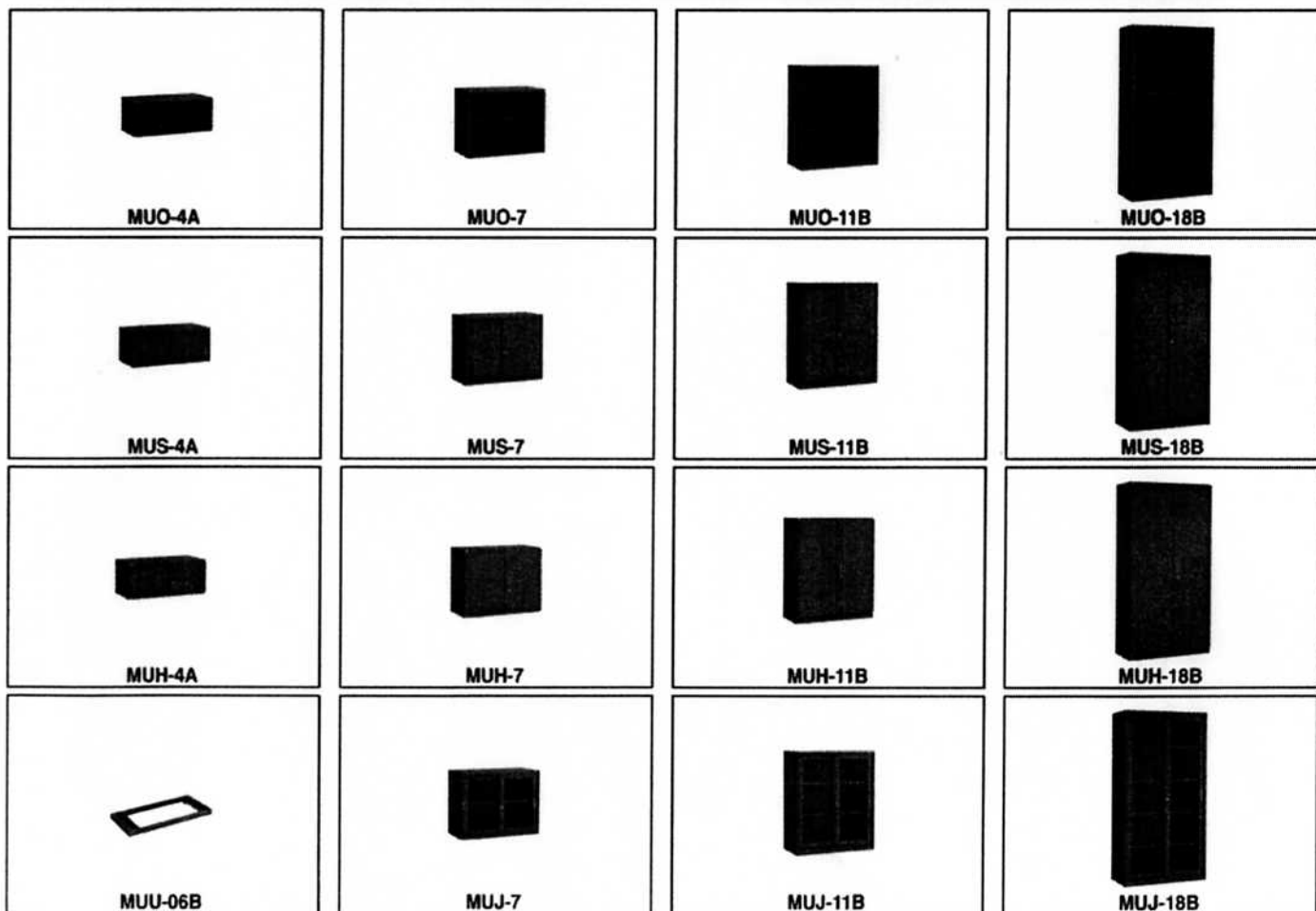
この取扱説明書は地球環境保護のため再生紙を利用しています。

# 仕様

品番		均等荷重 (kg)	製品寸法 (mm)	有効内寸法(棚板除く) (mm)	棚板		
					ピッチ(mm)	枚数	追加棚板
オープン	MUO	-4A	900 × 450 × 380	900 × 448 × 320	—	—	—
		-7	900 × 450 × 720	900 × 448 × 660	16.75	1	MUF2-01T
		-11B	900 × 450 × 1110	900 × 448 × 1020		2	
		-18B	900 × 450 × 1830	900 × 448 × 1740		4	
スチール戸引違	MUS	-4A	900 × 450 × 380	900 × 391 × 320	—	—	—
		-7	900 × 450 × 720	900 × 391 × 660	16.75	1	MUF2-01TS
		-11B	900 × 450 × 1110	900 × 391 × 1020		2	
		-18B	900 × 450 × 1830	900 × 391 × 1740		4	
両開	MUH	-4A	900 × 450 × 380	900 × 425 × 320	—	—	—
		-7	900 × 450 × 720	900 × 425 × 660	16.75	1	MUF2-01T
		-11B	900 × 450 × 1110	900 × 425 × 996		2	
		-18B	900 × 450 × 1830	900 × 425 × 1716		4	
ガラス枠付引違	MUJ	-7	900 × 450 × 720	900 × 391 × 660	16.75	1	MUF2-01TS
		-11B	900 × 450 × 1110	900 × 391 × 1020		2	
		-18B	900 × 450 × 1830	900 × 391 × 1740		4	
ベース	MUU-06B	—	900 × 430 × 60	—	—	—	—

- 設置時は、必ず水平な安定した場所を選び、  
設置後もケースが傾いていないかを必ず確認してください。  
設置面に凹凸があると、扉がしまりにくくなることがあります。

## 製品ラインナップ



商品改良のため、予告なく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** E-mail:techno.center@trusco.co.jp  
〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号 お客様相談室 ☎ 0120-509-849

<http://www.orange-book.com/>

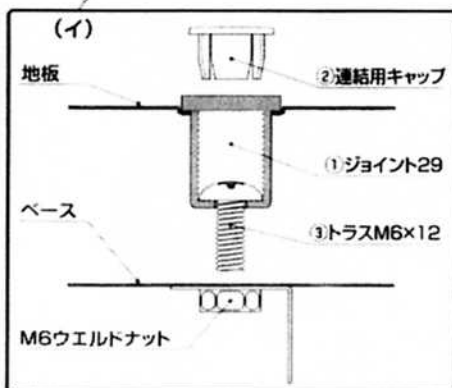
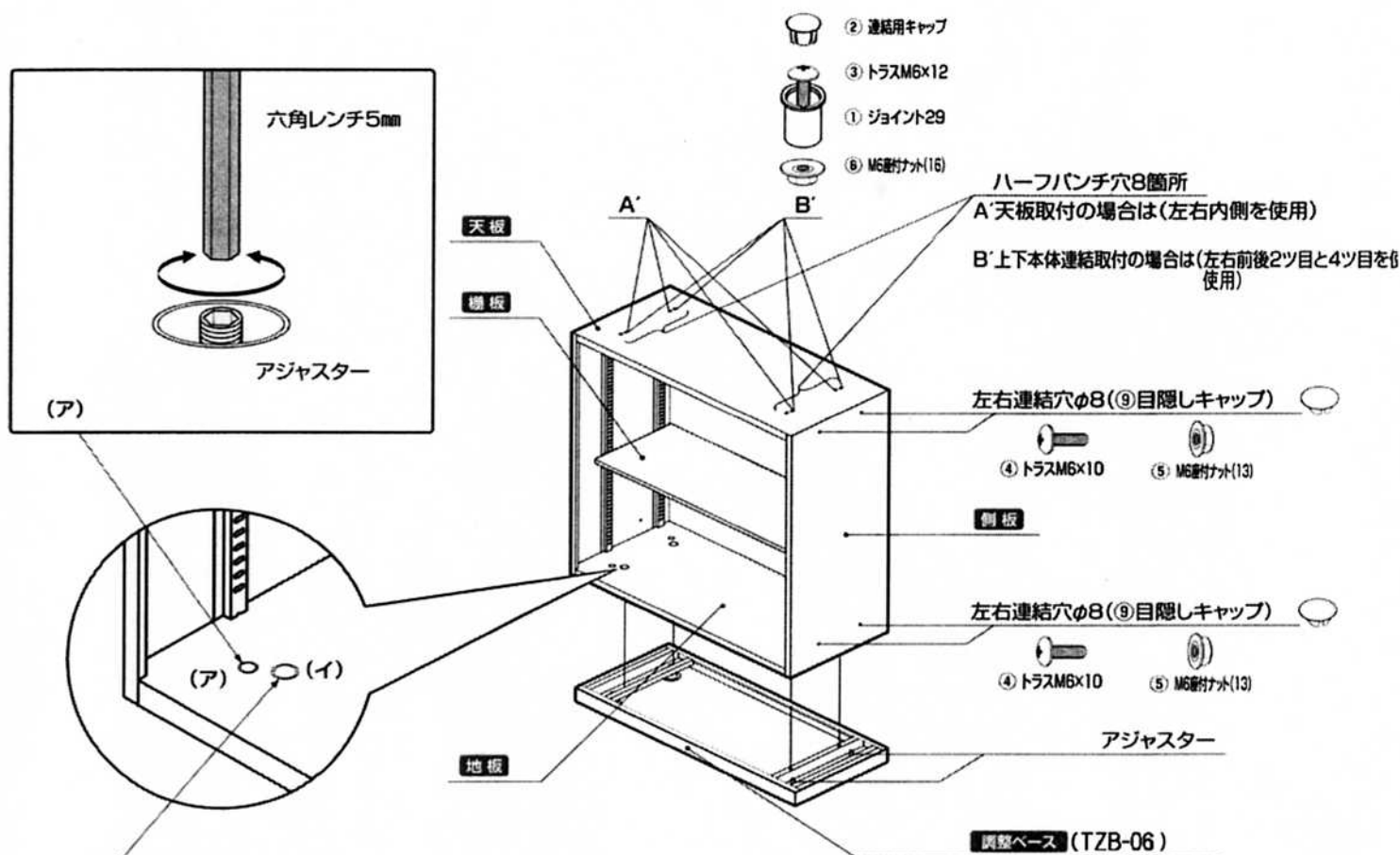
この度は、当製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

○施工(連結)前に必ずお読み下さい。

製品により部品が異なるため、「部材・部品一覧」に沿って部品のご確認をして頂き作業を進めて下さい。

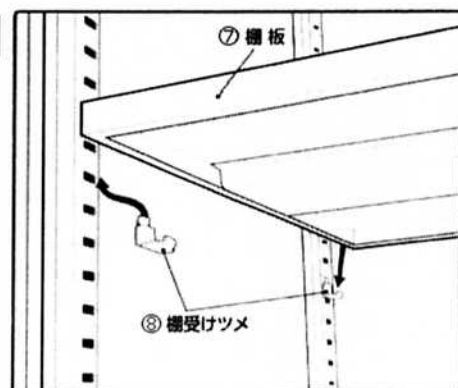
○工具が必要です。

施工(連結)に際しては、プラスドライバー、六角レンチ5mm、スパナ10mm等の工具が必要となります。












### 棚板の取り付けかた

- ① 棚受金具を、側板内面の溝に取り付けます。
- ② 棚板を棚受金具にひっかけるように置きます。



## ■付属部材・部品早見表

(施工前に部材・部品をご確認下さい)

品名・品番	部材・部品	① ジョイント29	② 連結用キャップ	③ トラスM6×12	④ トラスM6×10	⑤ M6座付ナット(13)	⑥ M6座付ナット(16)	⑦ 棚板	⑧ 棚受けツメ	⑨ 目隠しキャップφ8		
												
		上下連結用	上下連結用	上下連結用	左右連結用	上下左右連結用	上下連結用					
A	オープン	MUO-	4A	4	8	4	4	4	4	—	—	8
B			7	4	8	4	4	4	4	1	4	8
C			11B	—	4	—	4	4	—	2	8	8
D			18B	—	4	—	4	4	—	4	16	16
E	スチール引違戸	MUS-	4A	4	8	4	4	4	4	—	—	8
F			7	4	8	4	4	4	4	1	4	8
G			11B	—	4	—	4	4	—	2	8	8
H			18B	—	4	—	4	4	—	4	16	16
J	両開戸	MUH-	4A	4	8	4	4	4	4	—	—	8
K			7	4	8	4	4	4	4	1	4	8
L			11B	—	4	—	4	4	—	2	8	8
M			18B	—	4	—	4	4	—	4	16	16
N	ガラス枠付引違戸	MUJ-	7	4	8	4	4	4	4	1	4	8
P			11B	—	4	—	4	4	—	2	8	8
R			18B	—	4	—	4	4	—	4	16	16
S	ベース	MUU-06B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

## ■組立方法

### 1.ベース(記号S)と本体の上下連結方法(記号A.B.E.F.J.K.Nの各書庫共通)

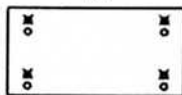
- 本体の地板部に、本体に付属のジョイント29(①樹脂×4個)を大きい方の穴(イ)4箇所に取り付けます。
- 本体をベース(H)に乗せ、本体に付属のトラスネジ(③M6×12/4個)を取り付けたジョイント29に差し込み、締め付けてベースと本体を連結します。
- 本体とベースを連結後、ジョイント29の穴に連結用目隠しキャップ(②φ15)で蓋をします。(※連結用目隠しキャップ②φ15はジョイント29の穴と(ア)のアジャスター調整用穴を塞ぐのにも使用します)
- 本体の水平レベル調整は、本体地板部の外側の穴(ア)(小径4箇所)から六角レンチ5mmを使用してベースのアジャスターを回転させて、高さの調整を計り水平を確保します。

### 2.本体と本体の上下2段積み連結方法(記号A.B.E.F.J.K.N共通・C.D.G.H.L.M.P.Rは下置専用)

【上記1.の方法で下段(本体+ベース)の連結後にA.B.E.F.J.K.Nの本体を乗せて連結する場合】

後

- 下段の本体の天板部分



前

に8箇所のハーフパンチ穴がありますが、×印のハーフパンチ穴の4箇所

をプラスドライバー等で打ち抜きます。

- 上段用本体(A.B.E.F.J.K.N)を下段本体の天板部に合わせて乗せます。
- 上段本体の地板部に、本体に付属のジョイント29(①樹脂×4個)を大きい方の穴(イ)4箇所に取り付けます。  
※ジョイント29・59・44は前頁の■付属部材・部品早見表を参考に、使用する品番を確認してください。
- 上記(1)で打ち抜いた穴をジョイント29の穴から一致しているのを確認し、本体に付属のトラスネジ(③M6×12/4個)を取り付けたジョイント29に差し込み、下段の内側より⑥M6×座付ナット(16)/4個を使用し、締め付けて上下の本体を連結します。

### 3.本体と本体の左右連結方法(各書庫共通)

- 本体左右の側板に4箇所穴が有りますので、隣り合う本体の内側から穴から一致しているのを確認し、本体に付属のトラスネジ(④M6×10/4個)と⑤M6×座付ナット(13)/4個を使用し、締め付けて左右の本体を連結します。  
(※連結しない場合は側板の4箇所の穴に⑨目隠しキャップφ8を取付けて下さい)